

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月10日

計画の名称	市民の生命と財産を守る下水道事業（防災・安全）															
計画の期間	平成28年度 ～ 平成31年度（4年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	広島市															
計画の目標	深刻な浸水被害、老朽化した設備の機能停止、管路の破損による道路陥没など、下水道施設に起因する被害の軽減を図ることで、安全で安心なまちをつくるとともに市民の生命と財産を守る。															
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		17,300	A	17,300	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）			0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H28当初)	(H29末)	(H31末)
1	①浸水常襲地区における床上・床下浸水解消面積の割合を増加させる。			
	①床上・床下浸水面積解消率 事業実施による床上・床下浸水解消面積（ha）／深刻な浸水被害が発生している地区（2,000ha）	30%	37%	37%
2	②合流式ポンプ場及び雨水ポンプ場で改築が必要と判定された主要設備数に対する改築実施率を増加させる。			
	②水資源再生センター・合流式及び雨水ポンプ場の主要設備改築実施率 改築実施設備数（箇所）／耐用年数を大きく経過している改築が必要と判定された主要設備数（90箇所）	0%	50%	100%
3	③改築が必要と判定された管路延長に対する改築実施率を増加させる。			
	③老朽管路の改築実施率 改築実施延長（m）／老朽化が著しく改築が必要と判定された管路延長（8,700m）	0%	55%	100%
4	④耐震化が必要と判定された管路延長に対する耐震化実施率を増加させる。			
	④老朽管路の耐震化実施率 耐震化実施延長（m）／耐震化が必要と判定された管路延長（13,400m）	0%	0%	100%
5	⑤合流式下水道整備区域に対する合流改善対策済み区域の割合を増加させる。			
	⑤合流改善実施率 合流改善対策済み区域の面積（ha）／合流式下水道整備区域（2,600ha）	53%	88%	88%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中核都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	広島市	直接	広島市	ポンプ 場	新設	雨水ポンプ場整備事業（ 新宇品ポンプ場）	放流渠 L=350m ポンプ設備 一式	広島市		■				290		－
	A07-002	下水道	一般	広島市	直接	広島市	管渠（ 雨水）	新設	雨水幹線整備事業（千田2 号幹線ほか10路線）	貯留管等 L=4,300m	広島市	■	■				7,300		－
	A07-003	下水道	一般	広島市	直接	広島市	終末処 理場	改築	水資源再生センター改築 事業（西部水資源再生セ ンター）	電気設備工事 一式	広島市	■					460		策定済
		長寿命																	
	A07-004	下水道	一般	広島市	直接	広島市	ポンプ 場	改築	汚水中継ポンプ場改築事 業（小田ポンプ場）	電気設備工事 一式	広島市	■					120		策定済
		長寿命																	
	A07-005	下水道	一般	広島市	直接	広島市	ポンプ 場	改築	合流式ポンプ場、雨水ポ ンプ場改築事業（千田ポ ンプ場ほか24箇所）	送水管、機械設備、電気設備 、防食 一式	広島市	■	■	■	■		4,360		策定済
		長寿命、ストック																	
	A07-006	下水道	一般	広島市	直接	広島市	管渠（ 合流）	改築	下水道管きょ改築事業（ 中区ほか4区）	L=8,700m	広島市	■	■	■	■		900		策定済
		長寿命、ストック																	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	広島市	直接	広島市	管渠（ 合流）	改築	下水道管きょ耐震化事業 （中区ほか3区）	L＝13,400m	広島市			■	■		2,400		－
	A07-008	下水道	一般	広島市	直接	広島市	終末処 理場	改築	下水道施設（水資源再生 センター、合流式ポンプ 場）耐震化事業（千田水 資源再生センター管理棟 ほか7箇所）	耐震補強工事（3処理区）、 耐震、耐津波診断（4処理区 ）、耐震化実施設計（3処理 区）	広島市			■	■		100		－
	A07-009	下水道	一般	広島市	直接	広島市	管渠（ 合流）	新設	合流式下水道緊急改善事 業（旭町雨水滞水管ほか2 施設）	雨水滞水管・汚水遮集管等 L ＝650m	広島市	■	■	■	■		1,350		－
	A07-010	下水道	一般	広島市	直接	広島市	管渠（ 汚水）	新設	アセットマネジメント導 入事業	ストックマネジメント支援制 度策定	広島市		■	■	■		20		－
											小計						17,300		
										合計						17,300			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 広島市（計画調整課）	事後評価の実施時期 令和4年3月
	公表の方法 広島市ホームページに掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	深刻な浸水被害、老朽化した設備の機能停止、管路の破損による道路陥没など、下水道施設に起因する被害の軽減を図った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
令和2年度以降も新たな社会資本整備総合計画（安全かつ強靱な下水道事業（防災・安全））において、引き続き防災・減災のための施設整備を推進し、安全・安心に暮らせる生活基盤を整備することとしている。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	床上・床下浸水面積解消率		
	最 終 目標値	37%	
	最 終 実績値	37%	
2	水資源再生センター・合流式及び雨水ポンプ場の主要設備改築実施率		
	最 終 目標値	100%	合流式ポンプ場及び雨水ポンプ場の改築を優先することとしたことによる増加
	最 終 実績値	131%	
3	老朽管路の改築実施率		
	最 終 目標値	100%	平成30年7月の豪雨災害等で事業が遅れたことによる減少
	最 終 実績値	85%	
4	老朽管路の耐震化実施率		
	最 終 目標値	100%	平成30年7月の豪雨災害等で事業が遅れたことによる減少
	最 終 実績値	68%	
5	合流改善実施率		
	最 終 目標値	88%	広島市合流式下水道緊急改善計画を一部見直したことによる増加
	最 終 実績値	90%	